

香りの記憶と甘味増強・塩味増強 —マウス行動学実験を利用して—

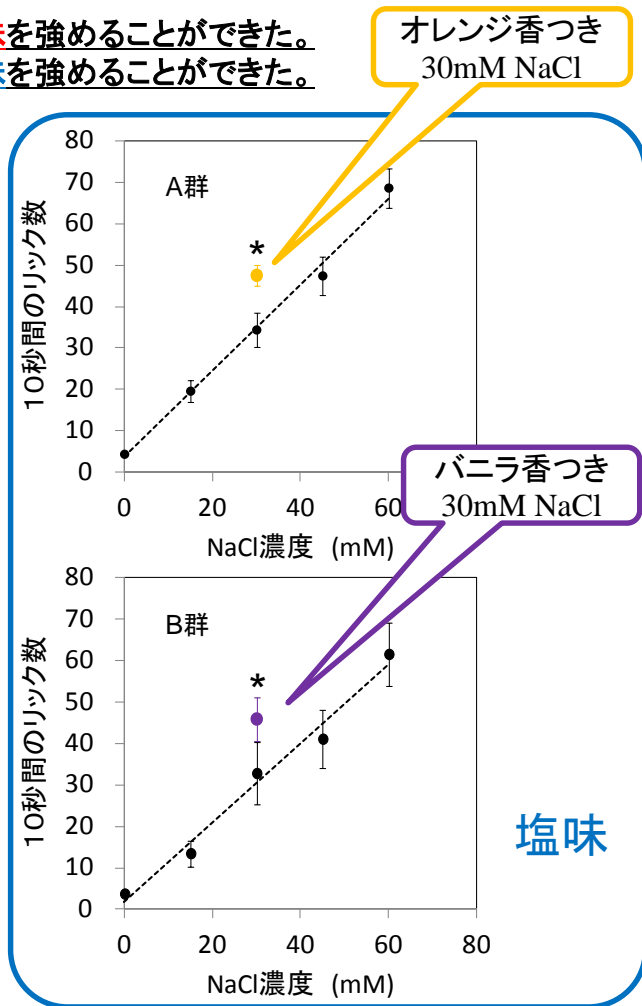
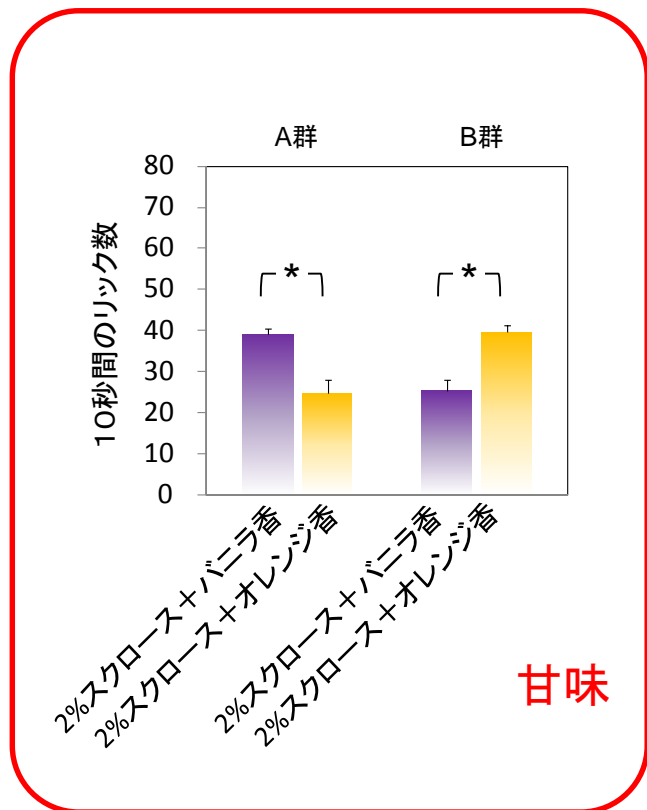
技術の特徴

幼い頃に記憶する任意の香りや味の連合学習を、実験動物を使って再現した。

研究の内容

- 6週齢の子マウスに対し、バニラ香のついた砂糖水/オレンジ香のついた食塩水を約2~3週間対呈示した(A群)。他方、オレンジ香のついた砂糖水/バニラ香のついた食塩水を約2~3週間対呈示した(B群)。
- 香り付きの砂糖水/食塩水に対するリック試験を行い、マウスが感じる甘味の強さや塩味の強さを比較した。

- ★ バニラの香りやオレンジの香りを使って甘味を強めることができた。
- ★ バニラの香りやオレンジの香りを使って塩味を強めることができた。



今後の展開

どんな香りを使っても、条件さえそろえば甘味や塩味を増強できるのか？
味増強に大きな効果を示す香りには共通の特性があるのか？ を明らかにしていきたい。

参 考

河合崇行ら、日本味と匂学会誌 22(3), 321-324 (2015)